

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>1. 空家対策について</p>	<p>令和5年5月第1回臨時会で市長は第3期目の就任にあたり、南アルプス市が将来にわたり、発展していくために3つの柱を積極的に推進していくと述べられた。その一つとして「住環境の整備や空家対策」が市の抱える課題の一つであり、それを解決するために「魅力あふれる地域整備」を行うと公約された。</p> <p>(1) 本市は空家対策に対し、現状の取り組みはどのようにしているのか、併せて今後の対応は。</p> <p>(2) 「第2期南アルプス市空家等対策基本計画」に基づき、空家等の利活用を推進しているが、現在、空家バンクの活用はどのような状況か。</p> <p>(3) 空家の中には管理不全な家屋があり、地域や近隣に迷惑をかけている。そのような状況について、市は現状をどのように把握し、対応しているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	躍進会 北村千代子		<p>(4) 全国的に多くの自治体は空家になってからの対策に重点を置いている。空家を増やさないために空家の発生前の対策が必要と考えるが、市の考えは。</p> <p>(5) 管理不全な空家になる前の管理について、市町村が指導、勧告が行えるように、今回、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正があった。その対応について、市ではその対象とする空家の調査や判定はどのように行うのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	公明党 齊藤 博明	1. 自治体経営の「要」としての「第3次南アルプス市総合計画」について	<p>(1) 総合計画策定手続き上の配慮として、計画策定のための体制と職員の参加、議会との関係、住民の参加の各々に対し、いかなる構想のもとに策定を進めるか。</p> <p>(2) 総合計画の実効性を確保するために、市はいかなる姿勢と体制で臨まなければならないと考えているか。</p> <p>(3) 直面する「2025年問題」を受け、本市は高齢者福祉にも積極的に取り組んできた。          今後は、より持続可能な福祉サービスを提供できる経営基盤の確立に向けた取り組みが必要となる。「人や企業に選ばれる自治体」を目指して、他の自治体との差別化を図り、まちの活力と財政力・人材力の維持・向上を図っていかなければならない。          市は、総合計画にどのような未来と長期的なまちづくりを書き込もうと考えているか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	<p>公明党 齊藤 博明</p>	<p>2. 南アルプスIC 周辺整備事業の 進展のために</p>	<p>本市の合併から20年を経て、「6色の調和」の時代から、「南アルプスの色」を明確に示す時が到来した。市のビジョンを明示することこそ、本市発展の「礎」に相違ない。 事業進展には、今こそ庁内を統合した連携組織、いわゆる「プロジェクトチーム」の構築が喫緊の課題と考えるが、市の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	未来創政の会  矢崎 俊秀	1. 新たな災害ステージに対応した万全な防災まちづくりについて	<p>(1) 近年地球環境の温暖化の進展に伴い、様々な災害リスクが発生していることから、新たな災害ステージに対応したまちづくりが期待されている。そこで、災害について改めて俯瞰してみると、先ず自然災害は、台風や地震などその発生頻度の高まりと共に大規模化の傾向にある。そして、新たな災害リスクに浮上した線状降水帯や、今後、災害の激甚化が予測されている竜巻と共に気象の専門家が指摘する雷対策の必要性が高まっている。また、「野外や屋外」を専ら生業とする農林業や建設業への温暖化がもたらす影響なども新たな災害リスクと捉えて対応方針を策定する必要がある。さらに別の観点からは、都市災害リスクとして木造住宅の耐震未改修や空き家の放置と共に洪水ハザードエリアの開発容認など都市災害は多様化と拡大の傾向にある。そこで、国が示している「なんとしても命を守り、社会経済に対して壊滅的な被害が発生しない」とした防災の基本理念や南アルプス市国土強靱化計画等を踏まえて、新たな災害ステージに対応した万全な「防災まちづくり」をどの様に考えるのか。</p> <p>(2) 昭和56年6月1日から平成12年5月31日までの19年間に建築された約9,600棟の木造住宅について昭和56年5月31日以前と同様に耐震改修が必要な建築基準法の改正の流れにあるが、現時点では補助対象に捉えていない。このため、法の下での平等性や都市の安全性を確保する観点から補助対象事業として耐震改修事業に組み入れる必要があるがどの様に考えるのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	未来創政の会  矢崎 俊秀		<p>(3) 近年の激甚化と頻発化する風水害を踏まえて、災害ハザードエリアにおける土地利用（開発許可制度）について見直す機運が高まっているが、浸水3メートルを超える水害が予測されている区域の建築件数はどれほどにあるのか。</p> <p>(4) 災害対策における重要な点である被害が発生しても社会経済に対して壊滅的な被害が発生しないことを目標とした防災方針を受けて、産業経済を担う農業施設や工場を始め事業所などの耐震化の進捗状況についてどの様に把握し対応しているのか。</p> <p>(5) 適切な防災対策のイメージを市民や関係者と共有することが「なんとしても命を守り、社会経済に対して壊滅的な被害を発生させない」とした防災の基本理念を実行できるものと考えている。そこで、新たな災害ステージに対応した総合計画の策定方針をどの様にするのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	未来創政の会  矢崎 俊秀	2. 日本一美しい都市宣言について	<p>公共施設において雑草が繁茂した光景について多くの市民から安全性や快適性を損ねて、都市の価値まで低下させているとした声が多く寄せられていた。一方、本市は合併以来、今日まで様々なまちづくりの価値を高めてきたところである。そして、現時点では、南アルプスIC拠点整備事業で大規模な商業施設を誘致して新たな価値の創造拠点としていることから、清楚で美しいまちづくり対策をしっかりと取り組む必要がある。この清楚で美しいまちづくりは、都市の魅力や価値を高めると共に先端産業の誘致や交流人口の増加など様々な効果が期待されることから、本市のまちづくりの魅力を更に高めて、併せてシビックプライドを高める観点からも「日本一美しい都市宣言」をすることの必要について市はどの様に考えるのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 櫻田 力	1. 大規模広域災害を想定した避難所の開設と避難所のあり方について	<p>(1) 大規模広域災害の発生により避難所を開設する場合の開設予定施設の安全性の確認と被災者の受け入れ体制は実災害に即した内容として構築されているか。</p> <p>(2) 避難所生活における感染症の蔓延や災害関連死の被害を拡大させないためには、指定避難所等の収容人数や住民の高齢化等を考慮した新たな避難体制のあり方の検討が必要になると考えるが、市の所見は。</p>
		2. 自助、共助による地域防災力の強化について	<p>令和6年度南アルプス市行政経営方針の施策3に地域防災力の必要性、重要性を周知し、自主防災会の防災意識の高揚を目指す取組方針が定められたが、具体的にどのような取り組みを行う考えか。</p>



令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス  村松三千雄	1. 行政サービスの向上と持続可能な財政基盤に向けた、本市の行政改革の取り組みについて	<p>本市は、平成17年3月に「南アルプス市行政改革大綱」を策定し、合併前のそれぞれの旧町村が行ってきた事業の統一化、整合化を図り、市民サービスの公平化を行うとともに、さらなる改革のために、第4次南アルプス市行政改革大綱及び実施計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、各種の政策を展開し財政運営の健全化にも努め、現在に至っていると認識している。</p> <p>また、市長は、将来にわたり発展していくための礎を築くべく、「さらに前進、未来を拓く」をスローガンに、市政運営を全力で取り組むとしている。それらを踏まえて。</p> <p>(1) 本市は合併以来20年間、合併特例債の有効活用と行政改革等により健全な財政状況を維持してきた。そこで、「行政改革大綱」に基づいた、これまでの行政改革の取り組み状況の整理と成果・検証が重要であると考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 金丸市政の3期目の公約、「本市の秘めた可能性を、将来を担う若い世代にしっかりと引継ぐために3本の柱を掲げ、効果的な施策を展開していく」としているが、大きく変貌する本市の情勢の中で、今後の行政改革に向けての取り組みについての考えは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	新政南アルプス  村松三千雄		<p>(3) 指定管理者制度は、本市では平成18年から導入が始まり、市民サービスの向上と経費削減の両面で効果をもたらしてきた。今後も欠かせない重要な施設がある中で、制度導入から17年が経ち、あらためて制度導入の効果など再検証し、成果と課題を明らかにして、今後の地域のコミュニティや少子高齢化社会の中での制度運用の方向性を示す必要があると思うが、市の考えは。</p>
		<p>2. 地域のコミュニティ施設への支援の充実について</p>	<p>人生100年時代となり、高齢社会となっていく生活構造では、高齢者が「より自宅に近い安全・安心な憩いの場」を設ける公の施設が求められている。また、防災や子供の見守り、居場所づくりなど、地域を取り巻く課題が複雑化・多様化して来ている。一方、地域コミュニティ活動の拠点となっている自治会の集会施設（公会堂）は、老朽化・狭隘化が進み大規模修繕や建替えのニーズが高まりつつある中で、原油価格の高騰や物価上昇などの社会情勢の急激な変化に伴う負担増により、改築や新設を計画しても実施に踏み込めない自治会も有ることも事実である。そこで、支えあいの地域づくりが推進されている中、本市は、自治会集会施設の現状をどう捉えているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	<p>躍進会 三枝 守和</p>	<p>1. 防災教育について</p>	<p>(1) 内閣府で設置した防災教育・周知啓発ワーキンググループ（防災教育チーム）の提言によると「子供の成長に重要な非認知能力の育成に効果的な防災教育が十分に認識されていない状況である。義務教育を終えた時に全ての生徒が災害から生命を守る能力を身に付けている保証は何もない。」と言っている。実践的な避難訓練の方法、また低学年と高学年の訓練の方法があると思うが、その違いは。</p> <p>(2) 子供の成長に重要な非認知能力の育成に効果的な防災教育が十分に認識されていない。非認知能力とは、意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった測定できない個人の特性による能力のことであり、これとは対照に認知能力（学力）がある。防災教育においては前者は家庭が担い、後者は学校が担っている。その中で、学校の授業においても非認知能力の防災教育は可能か。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	<p>躍進会 三枝 守和</p>	<p>2. 地域の強靱化について</p>	<p>国土強靱化政策の基本計画には「国民の生命と財産を守る防災インフラの整備、管理」、「経済発展の基盤となる交通、通信、エネルギーなどライフラインの強靱化」、「災害時における事業継続性確保をはじめとした官民連携化」、「地域における防災力の一層の強化」に沿って取り組みが示され、全国市町村の99%が地域計画を策定している。これらことから本市の強靱化への取り組みについて。</p> <p>(1) 横川、中条橋の取り組み状況は。</p> <p>(2) 大雨等による増水時の貯水池やため池の決壊の予防策は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	公明党 河野木綿子	1. ヤングケア ラー・ケアラー 支援について	山梨県において、全国的にも初となる 実態調査が2回行われた。本市の実態を踏 まえて、ヤングケアラー・ケアラー支援 の取り組みは。
		2. 子育て支援にお ける伴走型支援 強化について	昨年12月議会で「出産・子育て応援交 付金事業」に対応できる伴走型支援を拡 充するよう提言した。その後の検討は。

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	公明党 河野木綿子	3. 性的マイノリ ティへの支援 について	<p>(1) これまで2回に亘り議会で質問してきた。山梨県は「山梨県パートナーシップ宣誓制度」を令和5年11月から開始した。それに伴い南アルプス市の行政サービスが県ホームページにも公開されたが、対応出来るサービスが少ないと感じた。カップル向け制度の洗い出しをすると共に今後のサービスを拡充する考えは。</p> <p>(2) 職員向け研修および簡易的なガイドラインについての取り組みは。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	南風 藤田亜由未	1. 校則・生徒指導のあり方について	<p>(1) 令和4年12月生徒指導提要在改訂され、その中で「校則の見直し」についても明記されたが、本市において、児童生徒や保護者から、現在の校則についての見直しや課題についての声はあるか。また、時代に即した校則の見直しの是非について教育委員会の考えは。</p> <p>(2) 生徒が自分たちが守る必要のある学校のルールについて、先生や生徒、保護者で話し合いを行ったり、意見を交換し、必要に応じてルールを変更していくことは、主権者教育という点からも重要であると考えるが教育委員会の見解は。</p> <p>(3) 校則の内容や必要性について、生徒や保護者に入学時より前に周知しておくことが必要であると考え。新たな生徒指導提要には校則を学校HP等に公開するなどの運用方法が提示されており、本市でも今後取り組む必要があると考えるが教育委員会の見解は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	南風 藤田亜由未	2. 移住定住促進について	<p>(1) 令和5年6月の定例会で質問した、本市への移住定住の理由等についてのアンケート調査のその後の取り組みは。</p> <p>(2) 交流定住促進事業について、お試し移住体験・お試し滞在の現状と今後の取り組みは。 また、体験者や問い合わせをしてくれた方へのフォローアップや、その後の繋がりが持てるような取り組みについてどのように考えているのか。</p> <p>(3) コストコ・交流拠点のオープンに伴い、来訪者が急増すると予想される中、本市においては、飲食店や宿泊施設が少なく滞在時間が短いことが課題とされている。今後は、まちをさらに活性化させ、来訪者へのおもてなしにもつながるような新たな事業を創出しやすくするため、南アルプス市創業支援補助金等の適用範囲の拡大や、予算額を拡充させていくことが必要と考えるが、市の見解は。</p>



令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス 有野 一成	1. 市内の水路改修等について	<p>(1) 市内に多くある老朽化水路については、計画的に改修等が進められていると考えられるが、その現状と課題は。</p> <p>(2) 総合計画では、道水路の修繕には迅速に対応すると述べている。各地区からの水路改修要望等に対する進捗状況は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス  有野 一成	2. 市内の環境美化 について	<p>(1) 市内幹線道路や公園等において、草等が繁茂し市民からの苦情も増えてきている。ユネスコエコパークに指定されている本市にとって景観上や環境美化の観点からも好ましくなく、又、防災面等からも問題である。このような現状を市はどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 総合計画の生活環境の保全（環境美化の推進）の中で、清掃美化活動や環境教育を推進し、環境保全の意識を高めると述べているが、特に市内の清掃美化活動をどう活発にしていけるのか等について、市の見解は。</p> <p>(3) 市内遊休農地、荒廃農地も美観を損ねている。又、防災上も問題である。この荒廃農地等の現状を景観上どう捉えているのか。又、市はその対策をしているのか。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	小林 敏徳	1. 南アルプスIC 新産業拠点に参 入した企業につ いて	昨年7月4日に協定を結んだ「コストコ ホールセールジャパン株式会社」は、募 集要項に記載されている土地利用の在り 方、開発にあたっての項目をどのような 内容で応募してきたか。また、参入を決 定した要因について、詳細な説明を求め る。

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	松野 昇平	1. 介護保険制度の運営について	<p>(1) 市は、以前の議会答弁のなかで、介護保険料について、「制度が発足してから現在では3倍近い保険料となっている。40歳以上の働いている方にとっても、まして、年金生活者にとって平均で6千円の負担は大変厳しい」との認識を述べた。介護保険制度の円滑な運営のために、次期保険料を引き下げるべきと考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 介護人材や事業者の不足をケアするための支援体制や支援策、また、次期計画への反映について市の所見は。</p> <p>(3) 認知症に関わる施策やサービス提供体制の整備、また、次期計画への反映について市の所見は。</p>

令和5年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	松野 昇平	2. 市の交通政策について	<p>(1) 市は、来年度に向け「南アルプス市地域公共交通計画」を作成しているが、基本方針と施策の方向性について、どのように検討されているのか。</p>
			<p>(2) 「高齢者タクシー利用助成事業」の利用増進について、市の所見は。</p>
		3. 下水道使用料の値上げについて	<p>市は、本定例会において、下水道使用料の値上げを内容とする条例改正案を提出した。厳しい物価高騰が続き、家計や事業者への負担が増している状況での値上げについては、より慎重な姿勢と包括的な説明が必要と考えるが、市の所見は。</p>